～会議録抜粋～　会議録より抜粋し、「一問一答形式に編集」したもので正式な会議録ではありません。

===平成２５年第２回定例会　一般質問===

原田平議員

３　府道十三高槻線工事進捗状況について

【質問１回目】

○原田平議員　府道十三高槻線の工事新着状況について、お尋ねをいたします。

府道十三高槻線正雀工区の工事進捗状況について、阪急京都線吹田市域を超えて現道までの整備をしてこそ効果を発揮すると考えますが、全体の事業見通し等について、お尋ねをいたしたいと思います。

【質問１回目への答弁】

○吉田都市整備部長　十三高槻線工事進捗状況についてのご質問にお答えさせていただきます。

十三高槻線の正雀工区につきましては、大阪府茨木土木事務所において、平成１１年度から事業を実施されております。

本事業は、府道正雀一津屋線から正雀川を挟んで吹田市域の都市計画道路豊中岸部線までを１期区間、そして吹田市側への延長事業として豊中岸部線から阪急京都線を挟んで山崎製パン東側の穴田川水路までを２期区間として事業計画が進められております。

現在、２期区間について、鋭意工事進捗を図られているところでございます。

２期区間の工事進捗状況でございますけども、本線につきましては、平成２６年度春の交通開放を予定されており、側道につきましては、平成２６年度中の完成を目標に工事を進めていると聞いております。

ただし、一部側道整備箇所において、用地未買収部分もございますことから、一部区間において平成２６年度末時点においても暫定系での側道開放の可能性があるということでございます。

また、２期区間につきましては、現在、事業期間は平成２６年度末までとなっておりますが、数年程度の事業期間延長を予定されております。

阪急京都線との交差につきましては、当初はアンダーパス構造の予定でしたが、オーバーパス構造へ変更すべく、関係者と協議中とのことであります。

今後、平成３０年ごろの完成を目標に工事を進めたいと、大阪府からお聞きをいたしております。

【質問２回目】

○原田平議員　府道十三高槻線の工事進捗状況については、部長からご説明をいただきまして、２６年春ですね、来年の３月にはいわゆる本線部分が通行可能になるということであります。そして、側道については２６年度事業、いわゆる２７年春ということで１年おくれるわけでありますけども、とりわけ本線が開通というんですか通れるようになれば、車両が進入をしていって吹田市側に到着をするわけであります。地下道をくぐって吹田市へ上がりますと、吹田市側はまだ未整備であります。そういう中で車がどんどん入っていけば大変な状況になるということで、地元も心配されておられます。そういう意味で、大阪府からどのような処理をしていこう、あるいは計画をしていこうというふうにお聞きをいたしておられるのか、お聞きをいたしたいと思います。

【質問２回目への答弁】

○吉田都市整備部長　十三高槻線の本線交通開放時点の交通処理についてのご質問にお答えいたします。

本路線の交通開放につきましては、２期区間の完成までの期間、吹田市域の生活道路に通過交通が流入することを防止するため、周辺地域の車両以外はＵターンできる構造になっているところでございます。

また、府道正雀一津屋線との交差点や吹田市側の２期区間の終点付近では、車両の通り

抜けができないことをお知らせする看板を設置し、一般車両が進入しないよう対策も行うと、大阪府からは聞いております。

【質問３回目】

〇原田平議員　府道十三高槻線でございますが、２６年度の側道整備に伴いまして、完成ということでありますから、昨日の柴田議員の正雀のこの動線の問題で質問をされておりました。

要望しておきたいと思いますが、今年度２５年度、２６年度といったら来年度ですね、そういう段階で十三高槻線の工事が完成をしてまいりますので、バスの寄りつき場あるいはバスの新路線の研究というんですか、実現できるように今から取り組んでも遅いと思いますので、積極的な取り組みをしていただいて、大阪府やあるいは関係各位と協議をしていただいて、その実現に向けて努力をされることを、土木下水道部に要望しておきたいと思います。

それで、この２５年度春に本線が開通をいたします。地下道が完成をいたしまして吹田側へ行けるわけです。

吹田側の地元の方も車を通すことはならんということは言われないということは若干おっしゃっておられます。

しかしながら、多量にやっぱり流れ込んでくると、多分、住民生活あるいは車の行き場所がないので、Ｕターンをしてまた摂津側へ帰っていただくということになるので、そういうことは避けたいということで、また代案をされております。いろんなルートを変えて、こういうところを使ったらどうかとかいうような地域の案を出されております。それを特に大阪府のほうにもそういったことに働きかけをしていただくように、部長のほうからもお願いをしていただいたらいいと思います。

さて、府道十三高槻線でありますが、平成３０年を目途に、阪急の山崎パンまでの工事を完成したいということでありますが、今、状況を見ますと、買収はほとんどできておらない、そして難工事になる、阪急のオーバーパス工事ですか、そういうことがあるということで。

なぜ、私は３０年ということが出されたというふうに思うのは、国循とそして吹田市民病院が吹田操車場跡地にオープンをされるのが平成３０年というふうに言われておられます。そういう状況になりますと、吹田市域の南側の顧客というんですか、市民の方の足確保も十分しなきゃならないということで、平成３０年ごろを目途という位置づけをされて工事に着手されるんですけれども、先ほど言いましたように用地買収あるいは、なかなか工事が難しいという状況でありますので、吹田市も積極的にこの工事完成に向けて頑張っていこうという決意をされておられるようでございますし、摂津市も可能な限り協力を惜しまないでやっていただきたいということを要望しておきたいと思います。

そして、何を言いましても、市民の足確保のためにどうするかということももう少し検討していただきたいと。バス路線もありますし、車両も、安全対策も十分講じていただくというようなことをしていただいて、みんなで喜べる十三高槻線の正雀工区の開通をしていただきたいということを、また大阪府にお伝えいただければありがたいと思います。